

# 自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

| 自己                 | 外部  | 項目  | 自己評価                          | 外部評価   |                   |
|--------------------|-----|---|-------------------------------|--|-------------------|
|                    |     |   | 実践状況                          | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>I. 理念に基づく運営</b> |     |   |                               |  |                   |
| 1                  | (1) | ○理念の共有と実践<br>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている                            | 実践している。                       | 入居者さんにやすらぎと安心感を与え、自分の家だと思って頂けるよう、職員は理念を唱和し、日々の業務の中で実践に繋げるよう努力している。           |                   |
| 2                  | (2) | ○事業所と地域とのつきあい<br>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している                            | 散歩の時、地域の人と話す機会を取れる様にしている。     | 町内会に加入し、普段から交流を深めると共に、散歩や町内の祭りなどを通じて、地域の方と談話することで、地域の一員として交流が行われている。         |                   |
| 3                  |     | ○事業所の力を活かした地域貢献<br>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている                          | 出来ていない。                       |  |                   |
| 4                  | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み<br>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている       | 実践している。                       | 2ヶ月に1回、地域や家族代表者が参加して運営推進会議が開催されている。活発な意見交換が行なわれ、地域からの提案事項に沿ってサービスの質向上に努めている。 |                   |
| 5                  | (4) | ○市町村との連携<br>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる                 | 事前質問、改善等に関して介護保険課職員と交流に努めている。 | 代表者自ら行政の窓口に出かけ、市町村の担当者等と交流を図り、ケアサービスのあり方についての相談等を積極的に行っている。                  |                   |
| 6                  | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践<br>代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 取り組んでいる。                      | 玄関の施錠は、家族との話し合いに基づき、やむを得ず行なっているが、施設内では拘束をしないケアサービスに取り組んでいる。                  |                   |
| 7                  |     | ○虐待の防止の徹底<br>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている        | 実施している。                       |  |                   |

| 自己 | 外部  | 項目   | 自己評価                  | 外部評価  |                   |
|----|-----|--|-----------------------|---|-------------------|
|    |     |  | 実践状況                  | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8  |     | ○権利擁護に関する制度の理解と活用<br>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している    | 実施している。               |   |                   |
| 9  |     | ○契約に関する説明と納得<br>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている                         | 実施している。               |   |                   |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映<br>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている                     | 実施している。               | 毎月1回必ず、家族あてに入居者さんの暮らしの報告や次月に向けての課題等を書面にして配布している。また、「ももたろう通信」により、施設全体の報告も行なわれてる。そして、その中で要望を伺ったりして、運営に反映できるように努めている |                   |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映<br>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている                                      | 定例職員会議で全職員の意見を聴取している。 | 毎月1回の定例会議や日々の業務の中で、その都度、職員の要望や意見を聞く機会を設けて、意見交換している。より良い運営が出来るよう、職員の意見を聞き、運営に反映させている。                              |                   |
| 12 |     | ○就業環境の整備<br>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている      | 勤めている。                |   |                   |
| 13 |     | ○職員を育てる取り組み<br>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている         | 実施している。               |   |                   |
| 14 |     | ○同業者との交流を通じた向上<br>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 実施している。               |   |                   |

| 自己                         | 外部  | 項目   | 自己評価                 | 外部評価  |                   |
|----------------------------|-----|--|----------------------|---|-------------------|
|                            |     |  | 実践状況                 | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b> |     |  |                      |   |                   |
| 15                         |     | ○初期に築く本人との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 努めている。               |   |                   |
| 16                         |     | ○初期に築く家族等との信頼関係<br>サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている            | 努めている。               |   |                   |
| 17                         |     | ○初期対応の見極めと支援<br>サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている        | 努めている。               |   |                   |
| 18                         |     | ○本人と共に過ごし支えあう関係<br>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている                        | 実施している。              |   |                   |
| 19                         |     | ○本人を共に支えあう家族との関係<br>職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている         | 実施している。              |   |                   |
| 20                         | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援<br>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている                     | 認知症が進んでいる人には、対応出来ない。 | 昔馴染みの人や会社の同僚の訪問等、関係が途切れないように、職員が仲立ちになり支援している。 |                   |
| 21                         |     | ○利用者同士の関係の支援<br>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている                 | 努めている。               |   |                   |

| 自己                                 | 外部   | 項目   | 自己評価                  | 外部評価   |                   |
|------------------------------------|------|--|-----------------------|--|-------------------|
|                                    |      |  | 実践状況                  | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22                                 |      | ○関係を断ち切らない取組み<br>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている                    | 退所後は、程なく病院で亡くられる方が多い。 |  |                   |
| <b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b> |      |  |                       |  |                   |
| 23                                 | (9)  | ○思いや意向の把握<br>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している   | 努めている。                | 本人の要望を出来るだけ取り入れ、決して否定しないよう、意向を汲み取りながら、現状に即したケアプランの作成に取り組んでいる。            |                   |
| 24                                 |      | ○これまでの暮らしの把握<br>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている                                       | 努めている。                |  |                   |
| 25                                 |      | ○暮らしの現状の把握<br>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている   | 努めている。                |  |                   |
| 26                                 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング<br>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 作成している。               | 出来るだけ本人の希望を重視したケアプランを作成すると共に、各ユニット間での話し合いにより、本人がより良く暮らすためのケアプランが作成されている。 |                   |
| 27                                 |      | ○個別の記録と実践への反映<br>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている                        | 活かしている。               |  |                   |
| 28                                 |      | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化<br>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる               | 取り組んでいる。              |  |                   |

| 自己 | 外部   | 項目  | 自己評価                      | 外部評価  |  |
|----|------|---|---------------------------|---|--|
|    |      |   | 実践状況                      | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容  |
| 29 |      | ○地域資源との協働<br>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している                                      | 地域資源を活用できるような身体レベルの方が少ない。 |   |  |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援<br>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している                                  | 実施している。                   | 提携のかかりつけ医の往診体制が整っており、家族の希望にて、受診介助も行なわれている。家族や入居者自身も安心して医療が受けられるよう支援されている。 |  |
| 31 |      | ○看護職との協働<br>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している                          | 実施している。                   |   |  |
| 32 |      | ○入退院時の医療機関との協働<br>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 努めている。                    |   |  |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援<br>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる  | 実施している。                   | 入所時、ご家族と終末期の在り方について話し合いが持たれている。家族の希望においては、主治医と連携して、看取りの体制にも取り組んでいる。       |  |
| 34 |      | ○急変や事故発生時の備え<br>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている  | 実施している。                   |   |  |
| 35 | (13) | ○災害対策<br>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている  | 実施している。                   | 年2回の避難訓練には、スタッフ全員が参加している。故に、スタッフ全員、緊急時の避難方法を身につけている。                      | 施設内での訓練だけでなく、地域を巻き込んで避難訓練を実施することにより、緊急時において、速やかに協力が得られる体制が整えられることを期待します。 |

| 自己                               | 外部   | 項目   | 自己評価    | 外部評価   |                   |
|----------------------------------|------|--|---------|--|-------------------|
|                                  |      |  | 実践状況    | 実践状況   | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| <b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b> |      |  |         |  |                   |
| 36                               | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保<br>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている                   | 実施している。 | 職員研修や定例会議における接遇研修を通して、言葉遣いや声かけ等、プライバシーの保護に気をつけながら、また、個々の人権尊重に配慮しながら、日々のケアに取り組んでいる。 |                   |
| 37                               |      | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援<br>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている                     | 実施している。 |  |                   |
| 38                               |      | ○日々のその人らしい暮らし<br>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 実施している。 |  |                   |
| 39                               |      | ○身だしなみやおしゃれの支援<br>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している                                  | 実施している。 |  |                   |
| 40                               | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援<br>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている     | 実施している。 | 施設横で採れた旬の野菜を使って調理している。また、食事が楽しくなるよう、入居者さんと一緒に献立作成が行なわれている。嚥下能力の改善に向けても日々努力している。    |                   |
| 41                               |      | ○栄養摂取や水分確保の支援<br>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている          | 実施している。 |  |                   |
| 42                               |      | ○口腔内の清潔保持<br>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている                   | 実施している。 |  |                   |

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価    | 外部評価  |   |
|----|------|--|---------|---|---|
|    |      |  | 実践状況    | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容                         |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援<br>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている                             | 実施している。 | 本人の排泄パターンを理解し、オシメやポータブルトイレに頼らない、「自立に向けた支援」が提供されている。また、出来るだけ布パンツ使用にむけての支援が行なわれている。           |   |
| 44 |      | ○便秘の予防と対応<br>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる   | 実施している。 |   |   |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援<br>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている                            | 実施している。 | 入浴を拒否する人に対しても、出来るだけ2日に1度の入浴支援が行なわれている。また、入眠前の入浴も検討されている。                                    |   |
| 46 |      | ○安眠や休息の支援<br>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している  | 実施している。 |   |   |
| 47 |      | ○服薬支援<br>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている   | 実施している。 |   |   |
| 48 |      | ○役割、楽しみごとの支援<br>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている                            | 実施している。 |   |   |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援<br>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している | 実施している。 | 施設内に閉じこもらないよう、積極的に外食や買い物等の支援が行なわれている。家族の協力による外出支援は行なわれていますが、現時点では、地域の協力体制による外出支援は行なわれていません。 | 今後、地域への働きかけにより、地域の協力による外出支援が実施できる事に期待します。 |

| 自己 | 外部   | 項目   | 自己評価    | 外部評価  |                   |
|----|------|--|---------|---|-------------------|
|    |      |  | 実践状況    | 実践状況  | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 |      | ○お金の所持や使うことの支援<br>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している  | 実施している。 |   |                   |
| 51 |      | ○電話や手紙の支援<br>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている   | 実施している。 |   |                   |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり<br>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 実施している。 | 快適に暮らせるよう、室温や換気に配慮すると共に、室内にいても季節感が味わえるよう、飾り付けや生け花等、工夫している。                  |                   |
| 53 |      | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり<br>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている  | 実施している。 |   |                   |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮<br>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている  | 実施している。 | 本人のお気に入りの物を持参し、自宅で暮らしているときと変わらない居室もあり、工夫が施されている。また、入居者本人が安心して過ごせるよう配慮されている。 |                   |
| 55 |      | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり<br>建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している   | 実施している。 |   |                   |